

日本人の読書エネルギーの源泉

人は言葉でものごとを考えます。ですから、理解する言葉が多ければ多いほど、その人の思考の幅が広く、理解する言葉の深さが深ければ深いほど、思考の精密度も高いわけです。言葉を正確に豊かに使う人が、あらゆる方面で成功しているというアメリカの研究報告がありますが、考えてみれば至極当然のことと言わなければなりません。

ところで、デボノ博士を感心させた「日本人の読書エネルギー」は、どこから生まれるのでしょうか。それは、よく言われるように、日本人の勤勉さからでしょうか。

勤勉さもさることながら、わたしは、日本人の持つ高い読書能力、国語力から生まれる、と考えています。

およそ、世の中に、読書能力さえあれば、読書ほど、永続的に楽しくて有益なものは他にありません。ただ、読書能力が低いと、読んでも十分に理解できないので、読書が楽しめないのです。

わたしはむしろ、読書能力の高いことが日本人の読書エネルギーを生み出しているのであって、日本人が勤勉だと言われるのは、その

結果だと思うのです。